発表資料”作成”の手引き

第38回大阪府理学療法学術大会

2026.7.5 (sun)

会場

大阪国際会議場（グランキューブ大阪）&Web

大会長	井尻 朋人（喜馬病院）
副大会長	加藤 良一（大阪公立大学医学部附属病院）
準備委員長	三好 卓宏（医真会八尾総合病院）

初めての資料作成は大変！？

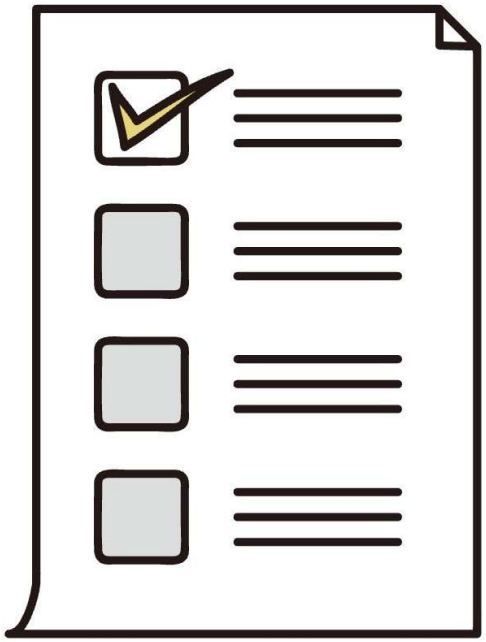
資料作成のポイントを把握して

学会発表を**楽**しもう！！

目次

Contents1.

学会規定の把握



スライド．4から

Contents2.

研究発表の構成と作成

スライド．13から

Contents3.

症例報告の構成と作成

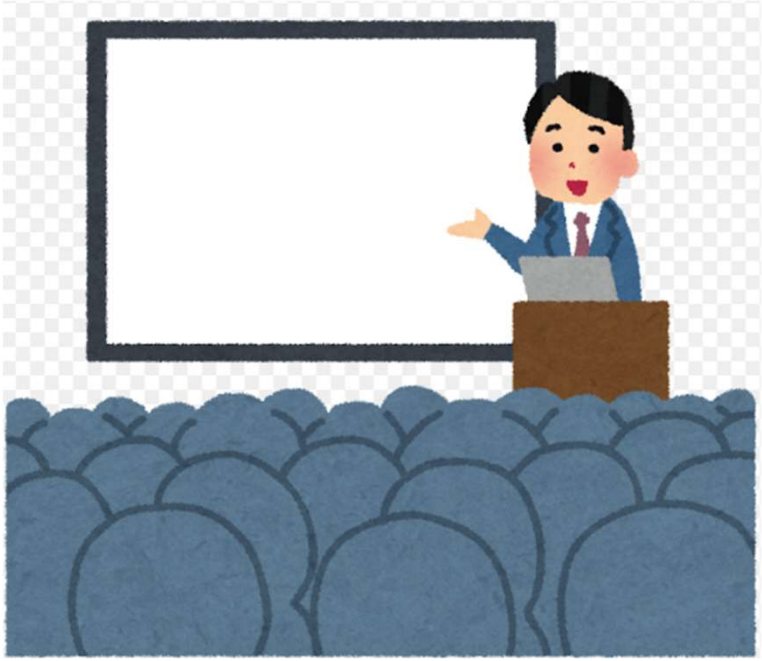
スライド．25から

Contents1.　学会規定の把握

- □ 発表方法は？
- □ 発表資料のサイズは？
- □ フォント・文字サイズは？
- □ 背景・色合いは？
- □ COIの記載は？
- □ その他、注意事項はあるか？

発表方法は？

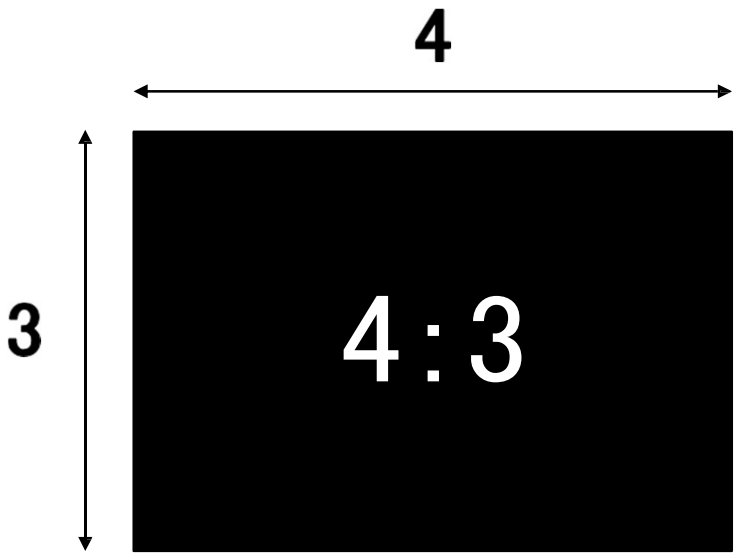
口述発表

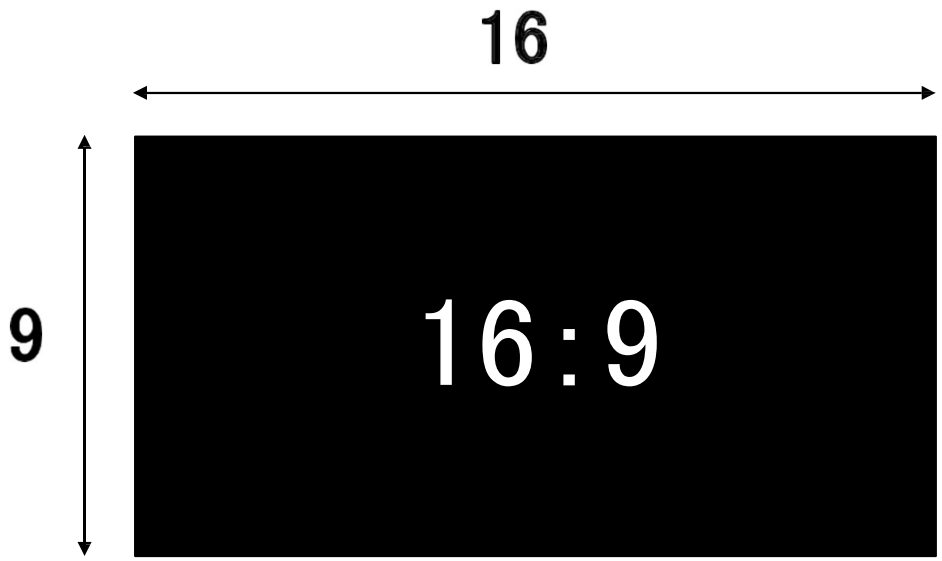


もしくは

ポスター発表

発表資料のサイズは？





「デザイン」➡「スライドサイズ」からワイド画面（16：9）をお選びください。

フォント・文字サイズは？

✓ フォントは統一する

おススメフォント

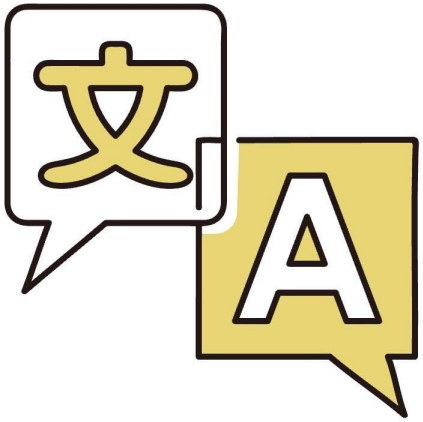
日本語:「MS Pゴシック」or「メイリオ」

英語:「Century」or「Calibri」etc…

✓ フォントサイズ

最低：24ポイント

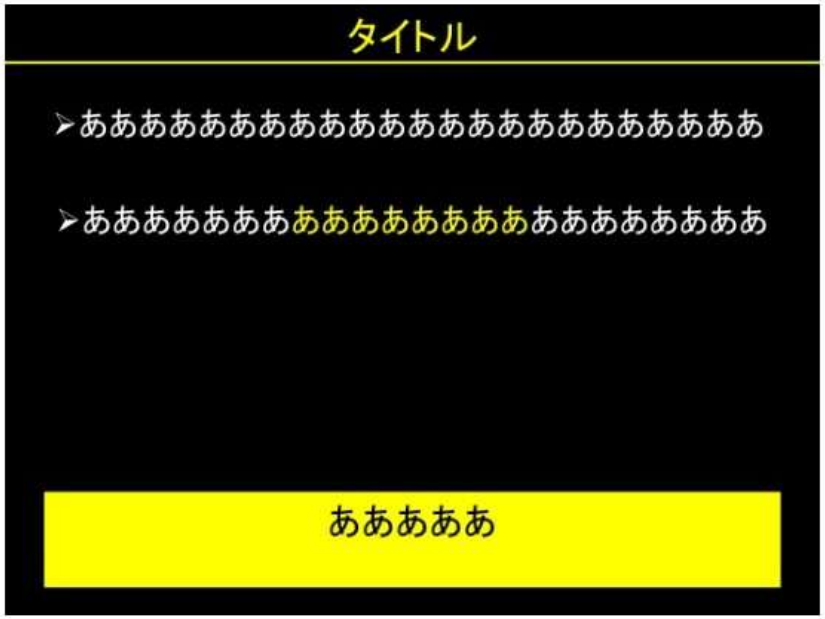
理想：28 or 32ポイント



背景・色合いは？

✓ スライドデザイン (以下の2パターンが無難)

パターン1: 背景色　⇒黒or濃い青
テキスト⇒白or黄色



パターン2: 背景色　⇒白
テキスト⇒黒or濃い青

色の数は３色程度に留めて使い分けることが無難

COIの記載は？

COIなし

第38回大阪府理学療法学術大会
COI開示

発表者名：大阪太郎、関西次郎、近畿花子、◎理学三郎（◎代表者）

演題発表に関連し、発表者らに開示すべき
COI関係にある企業などはありません。

COIあり

第38回大阪府理学療法学術大会
COI開示

発表者名：大阪太郎、関西次郎、近畿花子、◎理学三郎（◎代表者）

演題発表に関連し、発表者らが開示すべきCOI関係にある企業は以下の通りです。

①顧問:	なし	⑥受託研究・共同研究費:	○○製薬
②株保有・利益:	なし	⑦奨学寄付金:	○○製薬
③特許使用料:	なし	⑧寄付講座所属:	あり（○○製薬）
④講演料:	なし	⑨贈答品などの報酬:	なし
⑤原稿料:	なし		

倫理的配慮に関する記載の確認

倫理について，詳しくはHPをご参照ください．https://www.jspt.or.jp/shinsa/
研究および症例報告において，研究に協力いただく被験者(患者)及び研究者(報告者)自身が，
より安全かつ適切に関わるため重要です．下記のいずれかをスライド内のどこかに記載ください．

【記載例】
・倫理審査を受審している場合（ヒトを対象とした研究）
本研究は、発表者が所属する施設の研究倫理委員会（承認番号：　　）の承認を得て実施した。

・倫理審査を受審している場合（動物を対象とした研究）
本研究は、発表者が所属する組織の動物実験倫理委員会（承認番号：　　）の承認を得て実施した。

・倫理審査を受審していない場合
本研究はヘルシンキ宣言に従い倫理と個人情報に配慮し、口頭での説明と書面にて同意を得て実施した。

その他、注意事項はあるか？

オンデマンド配信による発表は、著作権法上の公衆送信にあたると考えられます。そのため、スライドにおけるコンテンツは著作権上の問題のないものに限るようにご留意ください。

アニメーションおよび動画の使用は可能ですが、
完全な動作保証は致しかねますので、その旨ご了承ください。

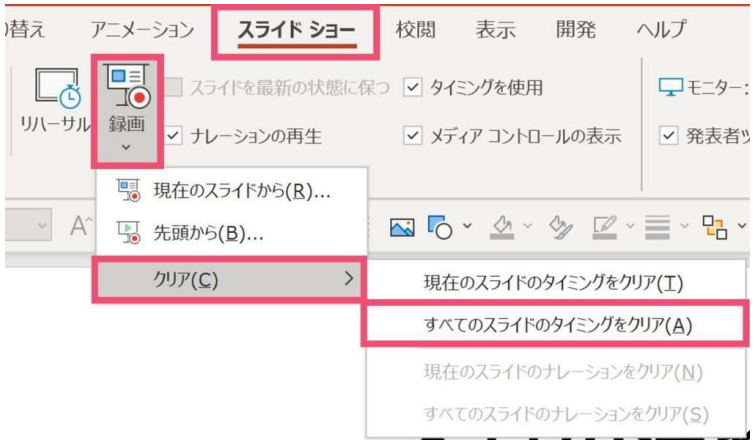
デザインは問いませんが、タイトル・所属・名前・利益相反(COI)・倫理面の配慮に関しては必ず記載するようにしてください。

その他、注意事項はあるか？

会場での口述発表用のスライドは、オンデマンド発表動画で保存した「音声」と「タイミング」を削除してから、ご提出ください。

※「音声」は、各スライド上のオーディオアイコン を選択し、Deleteキーを押して削除できます。

※「タイミング」は、スライドショー →スライドショーの記録 → クリア → すべてのスライドのタイミングをクリアをクリックして削除できます。



Contents2. 研究発表の構成と作成

- □ 研究発表の構成
- □ タイトルページの作成
- □ 引用文献の記載方法
- □ 背景の作成
- □ 目的の作成
- □ 方法の作成
- □ 結果の作成
- □ 表の作成
- □ グラフの作成
- □ 考察の作成
- □ 結論の作成

研究発表の構成

タイトルページ 1枚	COIの開示 1枚	背景 2-3枚	目的・(仮説) 1 枚	方法 2-3枚
結果 2-3枚	考察 2-3枚	限界 1枚	まとめ・結論 1枚	謝辞 1枚

- ✓ 1スライド30～60秒程度
- ✓ 10～15枚程度のスライド数が無難

タイトルページの作成

2026/7/5(日)
第38回大阪府理学療法学術大会

病院や大学の
ロゴを入れても良い

学会名や演題番号を記載しても良い

発表資料作成のポイント

タイトルは真ん中に配置する

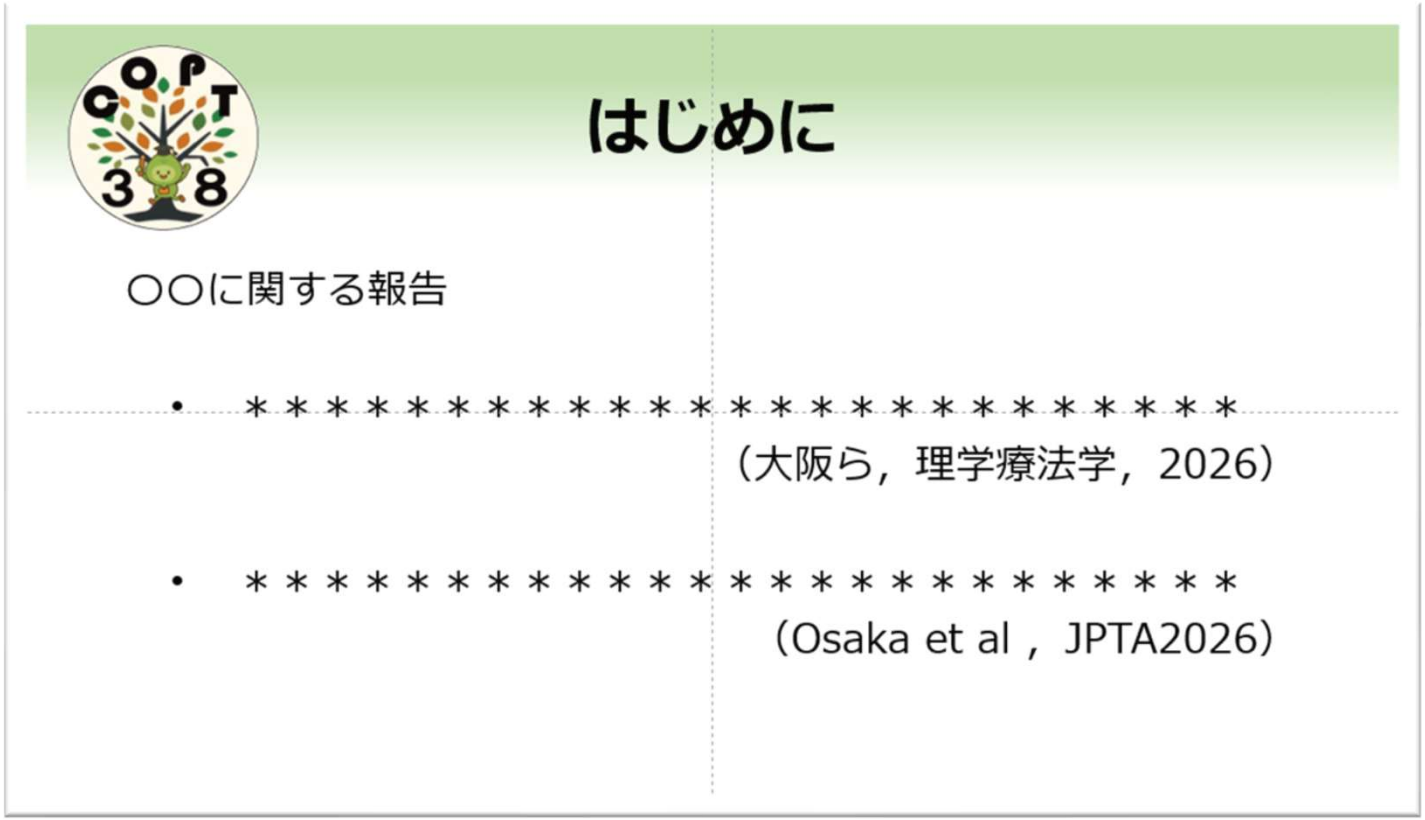
名前と所属を記載
名前の1）はフォントから
『上付き』に✓

大阪　一郎[1)]　関西　次郎[2)]　近畿　花子[2)]

1）〇〇病院　リハビリテーション科
2）〇〇大学　リハビリテーション学部　理学療法学専攻

引用文献の記載方法

著者名、雑誌名、掲載年を記載する。



学会抄録の引用はしない

背景の作成

✓先行研究を元に明らかになっていることを示す。
✓明らかになっていないこと、取り組むべきことを強調して示す。

背景

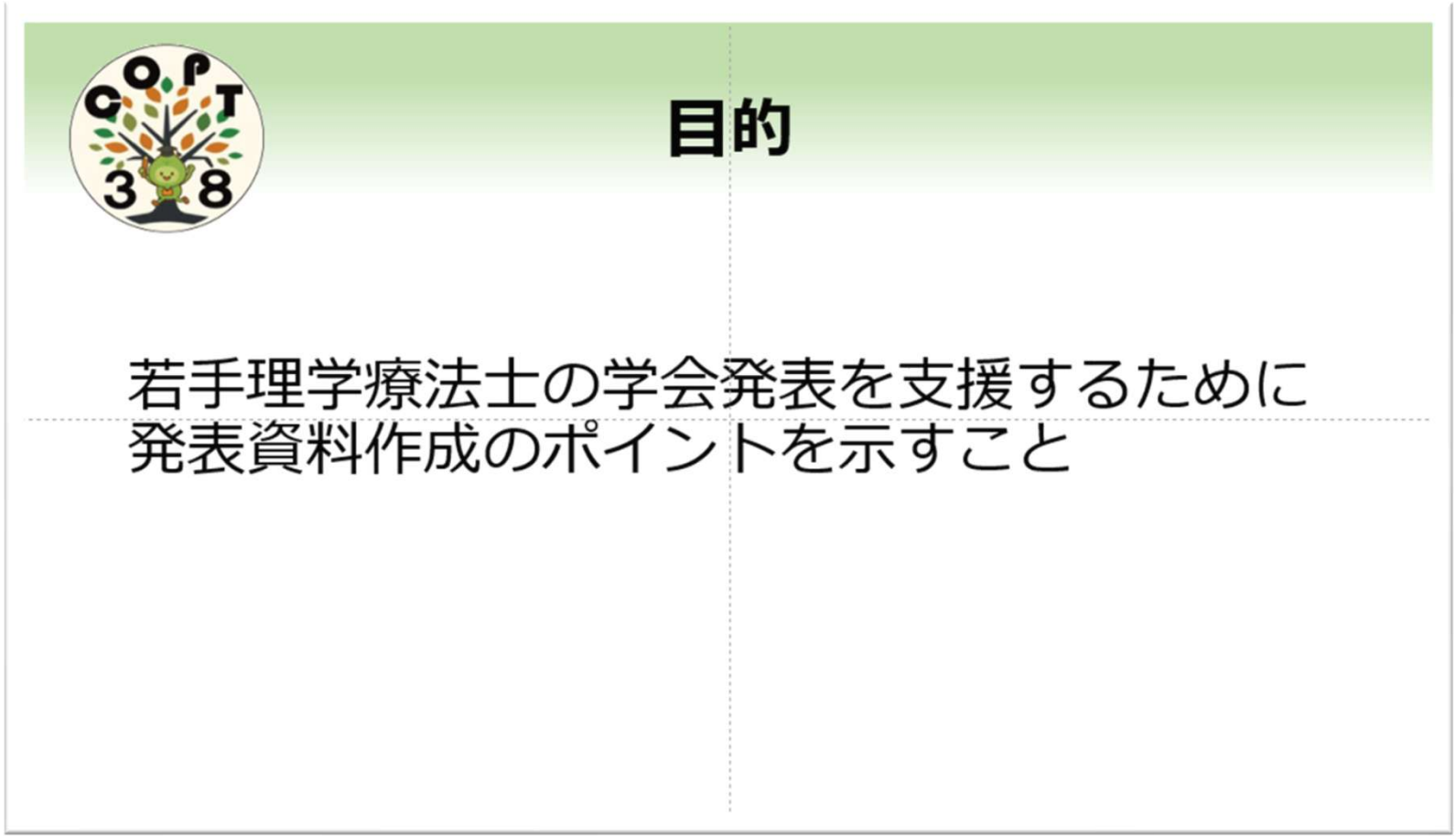
- 初めての学会で発表資料に悩む若手理学療法士が多い。
（大阪ら，理学療法学，2026）

- 発表資料作成について学ぶ機会は少ない。
（Osaka et al ，JPTA2026）

- 第38回大阪府理学療法学術大会では『学術が広げるキャリアの可能性』というテーマであり、発表者への支援も必要である。

目的の作成

✓目的はシンプルに明確に1枚のスライドに大きく示す。



方法の作成

✓実験方法・計測方法は再現できるかを意識する。

✓表や写真を上手に使う。

方法

【対象者を明確に示す】

- 対象者数
- 年齢や性別などの基本情報
- 本研究に必要な対象者情報
- 包含基準や除外基準　など

【何を調査・評価したのか】

- 群分けや比較対象について
- 統計方法、有意水準

【何を調査・評価したのか】

- 調査内容
- 評価項目
- 調査、評価時間などを示す
- 調査、評価方法の説明

表の作成

✓表のタイトルを記載する。
✓単位を記載する。
✓平均値±標準偏差 or 中央値（最小値-最大値）を記載する。
✓縦の罫線はなるべく使用しない。

表1 介入前後でのバランスおよび歩行速度の変化

	介入前	介入後	p-value
片脚立位保持時間（s）	17.5±4.3	18.8±7.3	0.141
FR（cm）	34.5±5.2	39.5±8.3	<0.001
TUG（s）	9.5±2.5	7.5±2.2	0.009

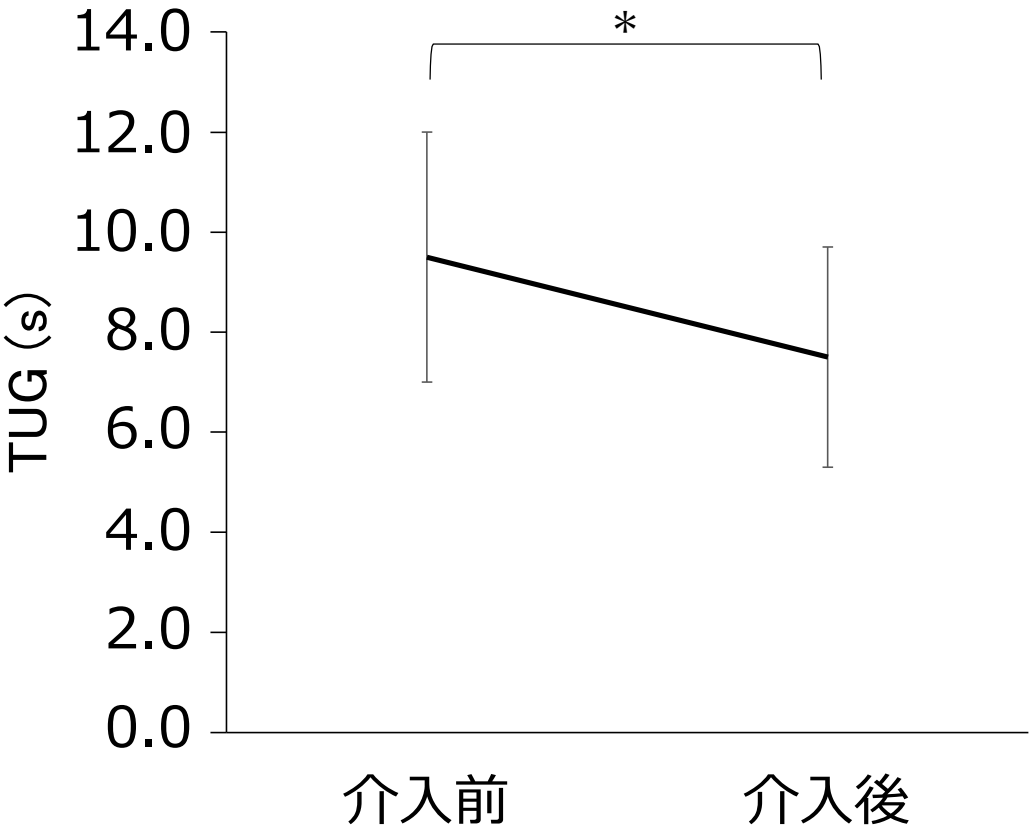
結果の作成

✓数字の羅列ではなく表やグラフを上手に使用する。

✓結果の内容に応じて適切なグラフを使用する。

- 折れ線グラフ： 経時的な変化を示す。
- 散布図： 変数間の関連を示す。
- 棒グラフ： 各群における平均値の差を示す。割
- 円グラフ： 合や構成比を示す。
- 箱ひげ図： 各群における中央値の差を示す。

グラフの作成



＊p<0.05

図1 介入前後でのTUGの変化

✓グラフのタイトルを記載する。

✓単位を記載する。

✓有意差をわかりやすく示す。

✓平均値と標準偏差を示す。

考察の作成

✓研究結果のまとめ

✓先行研究との比較

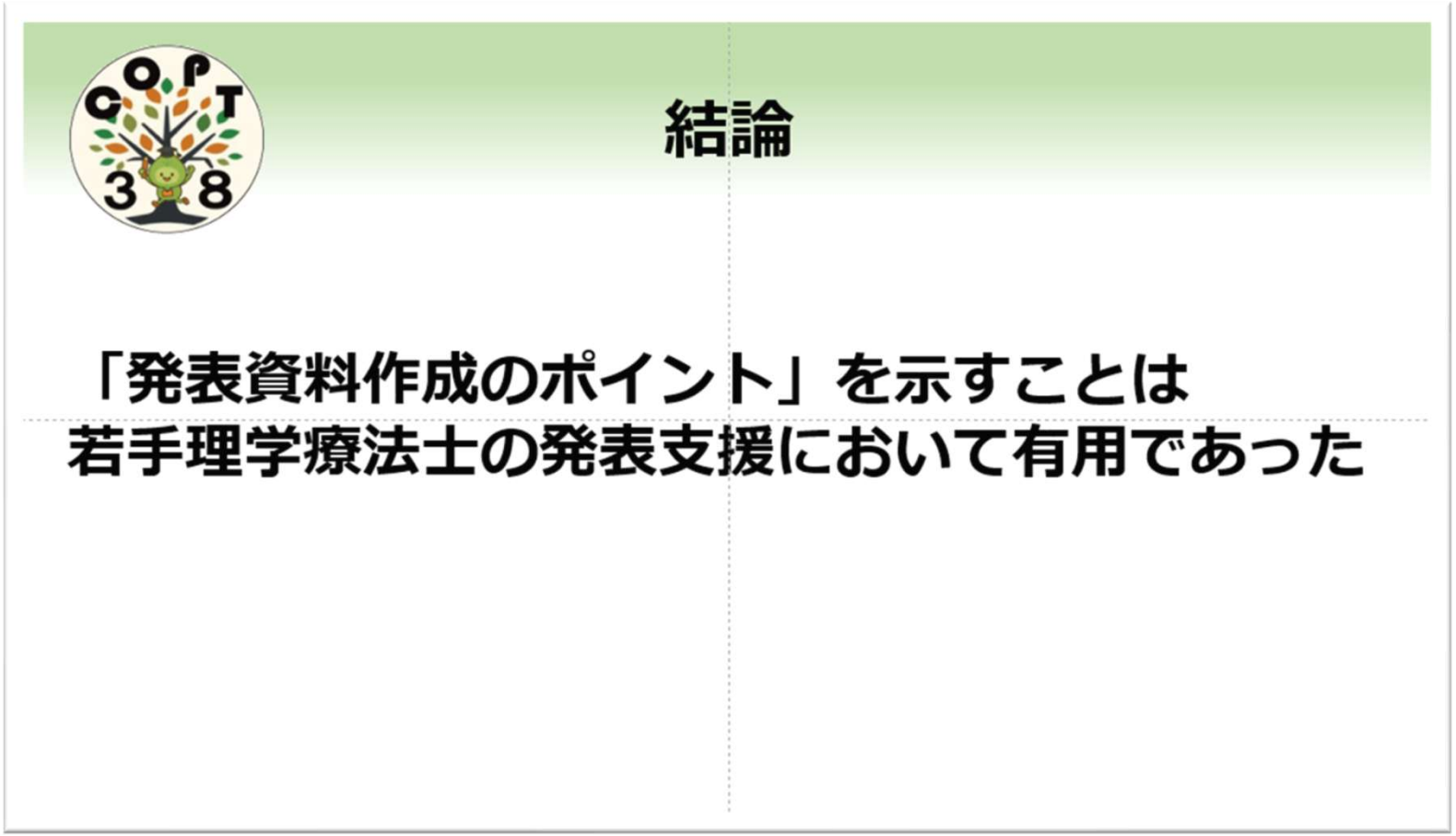
✓本研究の新規性

✓結果の解釈

✓研究の限界　　など

結論の作成

メッセージを端的に示す。



Contents3 症例報告の構成と作成

- 症例報告の構成
- 背景の作成
- 症例紹介の作成
- 評価と介入方法の作成
- リーズニングと結果の作成
- 結論の作成

症例報告の構成

タイトルページ	1枚
COIの開示	1枚
はじめに	1枚
症例紹介	1-2枚
初回評価	1-2枚
問題点・プログラム	1-2枚
治療経過	1-2枚
最終評価	1-2枚
考察	1-2枚
まとめ	1枚
謝辞	1枚

日本理学療法士協会「症例検討会 発表にあたって –第1版-」を参考に作成

背景の作成

今回の症例を報告する意義・ストーリーを示す。

背景

- 階段降段動作は人工座関節全置換術術後に難渋するADLの一つである。
（大阪ら，理学療法学，2026）

- 階段降段の獲得には膝伸展筋力が重要とされている。
（Osaka et al ，JPTA2026）

しかし、膝関節伸展筋力が向上しても階段降段の動作獲得に至らない症例を経験する。

今回、膝関節伸展角速度に着目し、評価・治療することで
階段降段動作獲得に至った人工膝関節術後症例を経験したため報告する。

症例紹介の作成

✓症例の特徴を明確に記載する。

・診断名

・病歴

・主訴

・リハ介入の目的

・着目したこと

✓ 今回の症例報告の意義を記載できるとより良い。

読者が症例の全体像を把握できるような紹介をする。

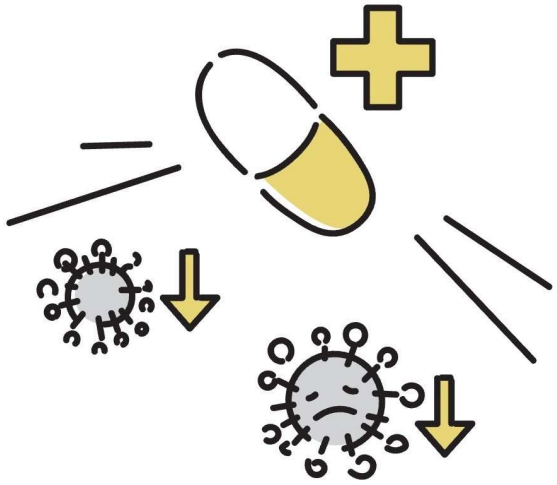
評価と介入方法の作成

【評価】

- ✓ 評価内容は客観的な数値を用いて記載することを意識する。
- ✓ 動作の特徴や症例の傾向など数値に示すことのできない情報も重要。
- ✓ 必要な評価結果のみを記載する。

【介入】

- ✓ 問題点に対して実施した介入内容を示す。
- ✓ 介入内容は一般的な用語を用いる。



リーズニングと結果の作成

【リーズニング】

- ✓ 一連の臨床の流れ（評価や介入）からのリーズニングを示す。
- ✓ 問題点を明確にする。

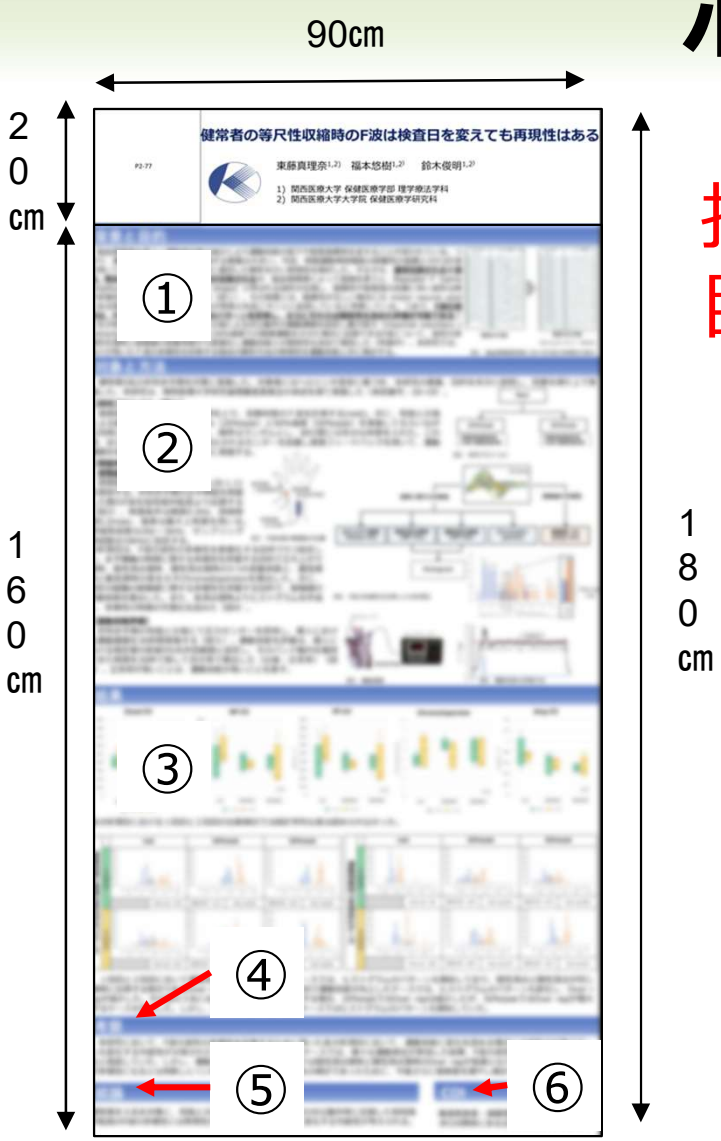
【結果】

- ✓ 介入による変化を時系列に沿って記載する。
- ✓ 介入による変化は可能な限り客観的な数値を用いて示す。
- ✓ 姿勢や動作などの数値で示せないものは写真などを用いても良い。
- ✓ 主訴の変化や目標の達成有無などの情報も大切である。

結論の作成

- ✓ なぜそうなったのかについて考察を記述する。
- ✓ 先行研究の引用や一般的な臨床成績との比較を踏まえることも重要。
- ✓ 他症例への応用の可能性、同一属性への一般化の可能性についても考察できるとより良い。

ポスターのサイズ・構成の見本



抄録の構成に沿って項目ごとに整理すると参加者の目を引きやすい

研究報告の場合
① 背景と目的
② 方法
③ 結果
④ 考察
⑤ 結論
⑥ COI

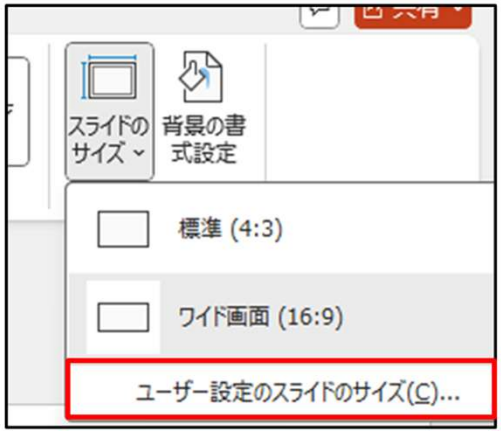
症例報告の場合
① 症例紹介
② 評価とリーズニング
③ 介入と結果
④ 考察
⑤ 結論
⑥ COI

ポスターサイズの設定方法

①デザインを選択

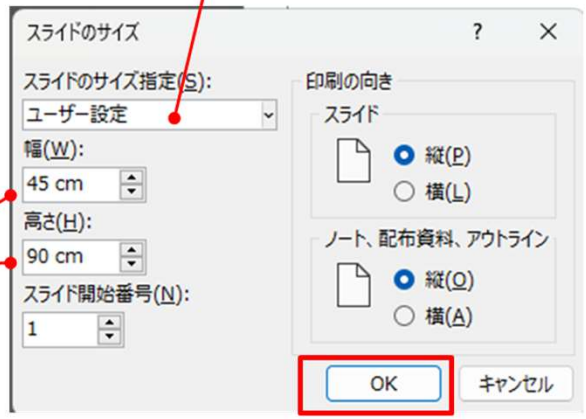
②スライドサイズ選択

③「ユーザー設定のスライドサイズ」を選択



④スライドサイズの設定

デザインを選択



規定サイズの1/2

※パワーポイント最大規格は142cm

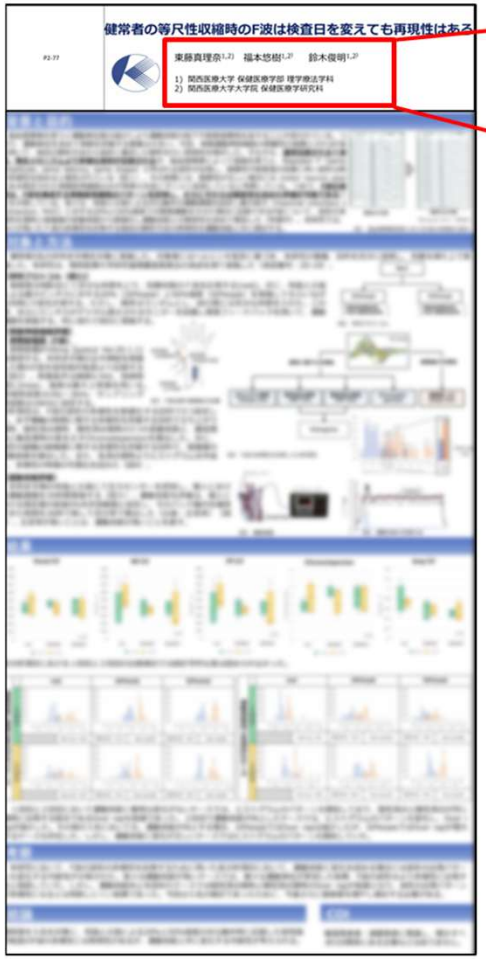
例：幅90cm 高さ180cmのポスターの場合
幅＝90÷2＝45cm　高さ＝180÷2＝90cm

演題名・所属・氏名の記載方法
ポスター発表

演題番号	タイトルは真ん中に配置する **発表資料作成のポイント** 大阪　一郎[1)]　関西　次郎[2)]　近畿　花子[2)] 1）〇〇病院　リハビリテーション科 2）〇〇大学　リハビリテーション学部　理学療法学専攻 名前と所属を記載 病院や大学の ロゴを入れても良い

- 氏名・所属は読みやすい適切なサイズ（例：28～32pt）で記載してください。
- 白背景の場合は黒文字、濃色背景の場合は白文字など、視認性を確保してください。
- 氏名と所属は左揃えまたは中央揃えで統一すると綺麗です。

ポスター構成の見本



関西　大郎[1)] 大阪　梅子[2)]

1）□□□□□□□□□□□□
2）△△△△△△△△△△△△

1. 所属の基本的な記載ルール

- 氏名の後に上付き番号で所属を示します。
- 複数所属の場合は、氏名の後に所属番号をカンマで区切って表示します。
- 筆頭著者と共同演者について、通常は、発表者（筆頭著者）は最初に記載し、共同演者はその後に並べますが、貢献度順または五十音順で並べるのが一般的です。

2. 所属名の書き方

- 正式名称で記載する必要があり、略称や省略表記を避けてください。
- 組織の階層は大→小の順で記載してください。つまり、大学・研究機関の場合には、「〇〇大学 医学部 リハビリテーション学科」のように、病院の場合は「□□病院 リハビリテーション科」のように記載してください。

3. 視認性とフォーマットの注意点

- 氏名・所属は読みやすい適切なサイズ（例：28～32pt）で記載してください。
- 白背景の場合は黒文字、濃色背景の場合は白文字など、視認性を確保してください。
- 氏名と所属は左揃えまたは中央揃えで統一すると綺麗です。

補足-①

どんなものが著作権で引っかかる？

自作の図やフリー画像を使用することに問題ありません．また，オープンアクセス論文(お金を払わずに見れるもの)や公的機関(厚生労働省やWHOなど)の図も問題ありません．

✅ 引用の条件（重要）

- **必然性がある**（発表の主張を補強するために必要）
- **改変しない**（図を加工してはいけない）
- **出典を明記する**（著者名・論文名・雑誌名・発行年など）
- **本文と引用部分を明確に区別する**（例：「図1. 筋収縮のメカニズム（出典：Smith et al., 2020, Nature）」と記載）
- **自分の発表が主、引用部分が従であること**（引用がメインにならないようにする）

✅ 避けるべきNG行為

❌ **ネットから適当に拾った画像を無断使用する**（特にGoogle画像検索のもの）

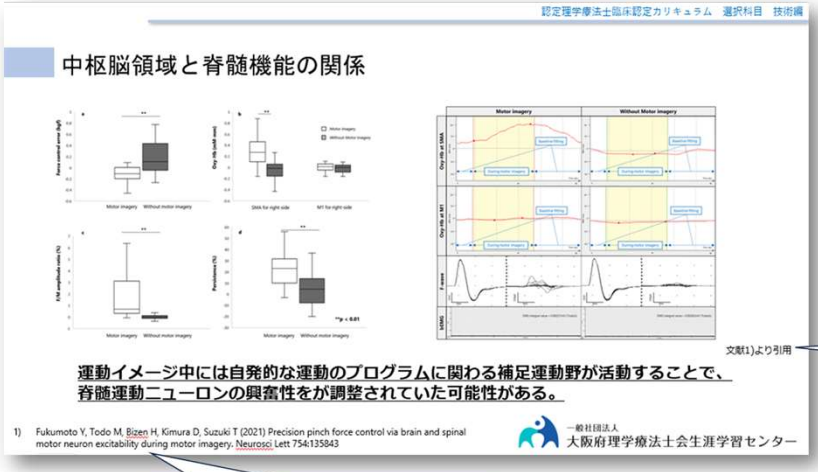
❌ **論文や教科書の図をそのまま使う**（著作権が出版社にあることが多い）

❌ **図を勝手に加工する**（引用の要件を満たさなくなる）

補足-②

どこまでが引用？

○引用なので問題ない

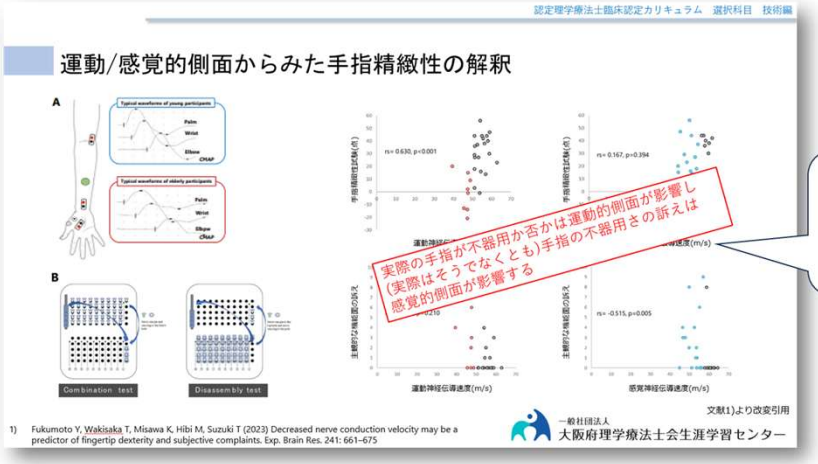


著作物の出所が、その複製又は利用の態様に応じ合理的と認められる方法により明示されている

図の引用元が示されている

著作物の出所が明記されている

✖引用改変なので問題あり



引用した論文の軸ラベルが日本語訳で重ねられ、図に被るように、文字も追加されているので”改変”にあたる

何かを強調するようなことも図の作成者の意図に含まれていない可能性があるので、同一性保持の観点ではよくないのだとは思います。でも、もうそれを言い出すと恐ろしいので、図に図を被せてることは許容して、図に文字を重ねられている場合のみ指摘する方針で、いければと思います。

どうすればいいか迷ったら？

- ✅ **オープンアクセスの図や自作の図を使う**（最も安全）
- ✅ **引用が認められる条件を満たす**（出典を明記する）
- ✅ **出版社や著者に許可を取る**（確実に問題を回避する）

補足-③

個人情報（プライバシー）に関する注意点

個人情報（プライバシー）に関する注意点

日本の個人情報保護法（個人情報の保護に関する法律）では、**氏名・顔写真・生年月日・カルテ情報など、特定の個人を識別できる情報**は適切に管理する必要があります。

✅ 対応策

- **匿名化する**（個人名、患者ID、病院名を削除，イニシャルにすることは可）
- **データを統計処理して個人を特定できない形にする**（例：年齢を「20代」などの範囲で示す）
- **カルテや診療記録の画像を使う場合は、識別できる情報をマスキング（黒塗り）する**
- **患者の個別事例を発表する場合、事前に同意を得る（インフォームドコンセント）**

✅ NG行為

❌ 患者の氏名や病院名が写っているカルテをそのままスライドに掲載

❌ 特定の患者の特徴がそのまま分かるようなデータを公表

補足-④

肖像権に関する注意点

肖像権は、本人の許可なく写真や動画を使用されない権利です。学会発表で**患者・研究参加者・医療スタッフの写真や動画を使用する際は、特に注意が必要**です。

✅ 対応策

- **患者・被験者の写真や動画を使用する場合は、事前に同意を得る**（書面で記録を残すのが望ましい）
- **顔にぼかし（モザイク）をかける、シルエット化する、イラスト化する**
- **後ろ姿や手元の写真を使い、個人が特定されないようにする**
- **実際の患者の写真ではなく、モデルを起用した画像を使用する**

✅NG行為

❌ 許可なく患者の顔写真をそのまま掲載

❌ 無断で撮影した動画をスライドに使用

❌ 研究参加者の顔が明確に分かる画像を使用

素晴らしい発表を会場でお待ちしております

第38回大阪府理学療法学術大会

2026.7.5 (sun)

会場

大阪国際会議場（グランキューブ大阪）&Web

大会長	井尻 朋人（喜馬病院）
副大会長	加藤 良一（大阪公立大学医学部附属病院）
準備委員長	三好 卓宏（医真会八尾総合病院）